

メンバーに聞く

国学院久我山高校ラグビー部現役時代の思い出・今

岡崎 均 18期 FW2

後輩たちへ。期待しています。

5/18 都大会決勝

目黒戦は感激しました。前半は殆ど負けを覚悟してましたが後半リズムも良くなり逆転。久我山の伝統と意地だったのでしょうか？ 洗練されていて、スリリングで面白いラグビーでした。私は素人で何も分かりませんが久我山は久我山らしいラグビーを貫き通してほしいと思います。

縁あって十五年ほど前にお手伝いさせて頂いた五十周年誌の11ページは白紙です。回答は本誌の最終ページに有りますが、六回目の全国優勝の為、あえて白紙にしています。一昨年、竹内監督と話す機会があり、記念誌の白紙の意味についてお話しした事があります。

あるブログでハーフタイムにOS-1(ポカリスエットの医療品)で水分補給している事が書いてありました。私たちの時代はラグビーの代名詞的なヤカンに入った水道水で渴きをいやしました。勿論、練習中は水など飲めません。水を飲むと疲れるというチョウ前近代的な考えでした。名前は公表しませんがバックネット裏に水を入れたコーラの瓶を隠し、こっそり飲んでいた選手が居たみたいです。数は2,3本と聞いてます

今の久我山の練習ではやっていないと思いますが「コーナー」というメニューがありました。ボールを中心に半径5メートルを《欽ちゃん走り》でイクゼー、イクゼーと声を出しながら円を描くように走るのです。今の選手が見たら大笑いされるかもしれません。時代は変わりました。とやかくは言えません。「久我山ラグビー頑張れ」。優勝の二文字期待しています。

私は中学までスポーツなどやった事がなく、久我山時代の思い出もありません。強いて言えば足ばかり引っ張る“迷”選手だったのかもしれませんが。また思い出らしき事も無く私たちのちょっとしたエピソードと現役選手への応援文にします。



富士見高原での合宿で

十八期 岡崎 均
十七期 伊東克典
十七期 榎本光二
(旧姓・和泉)

(ちょっとだけ広告・・・五十周年記念誌、蔵書扱いで東京と大阪の国立図書館に所蔵してあります。興味がある方はヤフーで検索してみてください。簡単に検索するには「国立国会図書館 燃え続けて 久我山 ラグビー」とするとコンテンツのトップに出てきます。) *必ず単語の間にはスペースをいれてください*



体育祭のクラブ対抗リレーに於いて、練習や試合では見せた事のない瞬足を披露した岡崎選手(昭和40年)

資料提供依頼のお願い

「メンバーに聞く」作成にあたって、各々の時代の写真等手持ちの資料に限りがあります。資料提供いただける方は下記までご連絡ください

17期 伊東克典 rsh25919@nifty.com